

提出順	6	発言順	7	令和 5 年 11 月 28 日
				午前・午後 9 時 8 分受領

(4枚中No./)

令和5年11月28日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 内川 集雄

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5 年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input checked="" type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	安曇野の豊かな水資源守り育て次世代へ		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

水田活用の直接払交付金が、令和4(2022)年度の見直しで、交付対象水田の要件が厳格化され、今後5年間(令和4年~令和8年)一度も水張りをしない水田は補助金対象外となり、多くの農家が交付を受けられないことを懸念する。

- ① このことから安曇野の農家(農地)は、どのような影響を受けるのか。
また、今後の見通しと市として農家に求めることは。

農地耕作環境が大きく変化をするようなことになると、水田耕作面積↓畑面積↑する。

水田の作付面積↓、田んぼ道すら舗装道路に変わり、雨水等による地下水の涵養が阻害され、降雪降雨の減少傾向からも地下水が≒344万ton/年↓。

「地下水は、安曇野市民共有のかけがえのない財産である。私たちは、この貴重な水資源である地下水を有効に活用してだけでなく、守り、育み、子々孫々まで伝える」と安曇野市地下水の保全・涵養及び適正利用に関する条例を制定した。

(市民及び事業者の責務)第5条、(地下水採取者の責務)第6条としており、第6条中には、「地下水の保全・涵養のために自らが利用する地下水の採取量の縮減に努める」とあるが、市内地下水を採取し飲料水を製造する某企業が既存の工場隣接地に新工場を建設し、2024年6月に完成し、7月から稼働、同社全体の生産能力を

提出順	6	発言順	7	令和 5 年 11 月 28 日
				午前・午後 9 時 8 分受領

(4 枚中 No. 2)

令和 5 年 11 月 28 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員

内 川 集 雄

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5 年安曇野市議会 12 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input checked="" type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	安曇野の豊かな水資源守り育て次世代へ		

2 倍に引き上げる。

条例の「地下水の採取量の縮減に努める」とは、真逆になる安曇野の水を採取する。

- ① 市内事業者（企業）の地下水の保全・涵養のための具体的な action は、どの様なものか。また、その実績は。

第 2 次安曇野市環境基本計画（2023 改定版）では、

◇ 水循環・水環境保全に関わる市内外の事業者からの協力（寄附）金を検討・実施する。となっている。

- ① 具体的にどの様に検討をし、結果は。

- ② 【提案】製品（売り物）に対する水環境保全（涵養ための）協力金（課金的な）の考え。

例えば、某企業を例とすると（2 ℓ Pet.b）≒6000 万本/年

×0.5 円=3 千万円

- ③ 安曇野市民の安全保障観点から市内地下水を採取し飲料水を製造する企業への M&A 等（参入）外資系法人団体等の対策市独自の条例制定。

・地下水涵養に関連し、安曇野の農地（4/1 から誰でも農地購入可能）も同様に市独自の条例制定。

提出順	6	発言順	7	令和5年11月28日
				午前・午後 9時8分受領

(4枚中No.3)

令和5年11月28日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 内川 集雄

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	技術は芸術勤労長寿の安曇野		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

安曇野市ものづくり振興ビジョンを策定した。基本目標「高い技術力で持続的に成長するまち 安曇野」の実現のために4つの基本戦略を立案し、実行するとしている。基本戦略のものづくり技術を継承する人材確保と育成に関して伺う。

企業経営者と懇談する中で人員不足と技術の伝承 (中には後継者不足も) を心配している。

- ① 基本戦略が功を奏すのか。
 - ・ (製造現場の) 人員不足と技術の伝承
- ② 【提案】 勤労長寿
- ③ 安曇野市商工業振興審議会委員 (学識経験を有する6名) に労金関係者が含まれないのはなぜか。

【関連して】

建設関係事業者 (社) 等の働き方改革関連法により時間外労働に上限が設けられる。

- ① 市の対応と建設関係人員↓等対応施策は。

提出順	6	発言順	7	令和 5年 11月 28日
				午前・午後 9時 8分受領

(4枚中No.4)

令和5年11月28日

(宛先) 安曇野市議会議長 松枝 功

安曇野市議会議員 内川 集雄

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 5年安曇野市議会 12月定例会		
発言の方法	<input type="checkbox"/> 一問一答	<input checked="" type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間 20分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光スポーツ部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 危機管理監 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他()		
質問事項	安曇野ナンバー4市町村の合併は		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、今後、人口減少はさらに加速し、2040年頃、高齢者人口はピークを迎える。急速に人口減少と高齢化が進行することが見込まれる中であって、行財政基盤を維持していくために、安曇野ナンバー(令和7年5月頃から交付開始の予定)になった安曇野市、池田町、松川村、生坂村の4市町村の合併(安曇野市へ)の考え、4市町村住民福祉についても伺う。